



2回戦に向けてバッティング練習をする八学光星ナイ
ン1123日午後、兵庫県西宮市の鳴尾浜臨海公園野球場

光星 打撃練習で快音

きょう滋賀学園と2回戦

第98回選抜高校野球大会(センバツ)に出場している本県の八戸学院光

星は23日、兵庫県西宮市(鳴尾浜臨海公園野球場)で最終調整を行った。選

手たちは打撃練習で快音を響かせ、滋賀学園との2回戦(24日第3試合・午後2時開始予定)での必勝を誓った。

22日に続いてこの日も練習後、エースで4番の

主将北口は「ベンチメ

相手の左腕土田、右腕伴田の2投手を想定した打撃練習を約2時間実施。ナインは数球ずつ交代しながら打席に立ち、強烈なライナー性の打球を次々と放っていた。投手陣はストレッチなど軽めの調整を行い、登板に備えた。

練習後、エースで4番の主将北口は「ベンチメ

ンパー外も含めてチームが一つになっている感じがする」と明るい表情で語り、「(初戦翌日から)4日間、一日も気を抜かず」に次の試合に向けて準備をしてきた。前回の反省を生かし、しっかり試合に入れるようにしたい」と決意を語った。

光星打線 切れ目なく

きょうの注目

【2回戦】

▽第3試合(14時)

八学光星―滋賀学園

八学光星は1回戦で2桁安打。延長十回には一挙9得点の破壊力を見せた。本塁打を含む3安打3打点の1番菅沼から下位まで切れ目がない。

滋賀学園は左の土田、右の伴田の両エースが1回戦で課題を残した。吉森、中野ら中軸打者は振